

ばんけい

教育ほつとにゅーす  
かわら版こ みち  
教育の小径 No.137  
2020 March  
3月号

(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生

今月のことば

お 推して知るべし

推測すれば、簡単にわかることをいいます。一般に、悪い例をあげて使います。「押しして」と書くのは誤りです。

## 身近な「伝統」に目を向けたい

- 伝統文化教育は特別の教育ではありません。日常生活に見られる伝統文化を取り上げることにより、どの学級でも自然な形で実践することができます。
- 各教科等には、伝統文化に関する教材や題材、学習活動が位置づけられており、日常の教科等の指導でも実践が可能です。

今月の サンゴの日  
記念日 (3月5日)

1996年(平成8年)に、世界自然保護基金(WWF)が制定しました。3月の誕生石は珊瑚(コーラル)で、「さん(3)ご(5)」の語呂合わせです。

## 「伝統」は非日常のものか

いま学校で、伝統文化教育が課題になっています。「伝統」と聞くと、歌舞伎や能、狂言などの芸能、柔道や剣道などの武道、浮世絵や錦絵、大和絵などの絵画などを連想する人も多いでしょう。どうしても私たちの日常生活との距離感を意識してしまいます。

そのため、学校で伝統文化教育を推進しようとする、地域に伝統的な産業や文化は根づいていないか、地域で伝統芸能に携わり、継承している人はいないかなど、伝統文化に深く関わる題材や人材を求めようとします。

こうした取り組みはとても重要ですが、地域によっては適切な教材や人材に出会うことができない場合もあります。すると、「私の地域にはよい教材がありません。協力者もないので、伝統文化教育は実践できません」ということになりかねません。

伝統文化教育は、日常生活のなかで普段に見たり接したりできる素材を教材として取り上げることにより、郷土やわが国の伝統のよさを理解させることはできないでしょうか。

「伝統」は、例えば毎日の食生活に見ることができます。伝統食や郷土料理などのメニューや箸や茶碗などの道

具にはわが国固有の伝統が根づいています。伝統野菜を食材にすることもあります。これらが学校給食の献立に出されたときには、「和食」のよさについて話題にすることができます。

わが国には暦があります。3月は弥生とも言います。3月には桃の節句や雛祭りなどの年中行事や春分の日(祝日)があります。5日ごろは二十四節気の一つである啓蟄です。これらの意味やいわれについて朝の会などで話題にすると、わが国に根づいてきた文化に関心をもたせることができます。

伝統文化教育をかしこまった形ではなく、子どもたちの日常生活と結びつけて指導すると、自然な状態で理解と関心をもたせることができます。

## 日常の教科等の指導でも

伝統文化教育は特別な教育ではありません。伝統文化の視点から、学習指導要領に目を通すと、あらゆる教科等に伝統文化に関する内容や教材が位置づいていることがわかります。

国語科では、短歌や俳句、ことわざや慣用句、古典、毛筆による書写などが、社会科では、県内の文化財や年中行事、地場産業、わが国の歴史などが取り上げられます。算数科では算盤が扱われます。生活科では季節や地域の

行事を取り上げます。音楽科では日本古謡や和楽器を含めた郷土やわが国の音楽を取り上げ、図画工作科ではわが国の美術作品を鑑賞します。

さらに、家庭科では伝統的な日常食や生活文化などが取り上げられます。体育科では伝承遊びを、道徳科では先人の生き方や伝統や文化を題材にします。総合的な学習の時間や特別活動(クラブ活動や学校行事)でも伝統文化を取り上げることができます。特に総合的な学習の時間には伝統文化に関する教材や活動を選定し、地域に密着した実践を展開することができます。

このように見てくると、伝統文化はあらゆる教科等において実践が可能であることがわかります。その際重要なことは、授業者が伝統文化教育との関連を強く意識して実践することです。

最後に、改めて伝統文化教育の目標を整理しておきます。

- ・ 郷土やわが国固有の伝統的な文化や生活習慣などの実態、今日まで引き継がれていることを理解できるようにする。
- ・ 根づいてきた伝統や文化に関心を持ち、進んで継承・発展させようとする意欲や態度を養う。
- ・ 伝統や文化のもつ意義や役割、歴史的な背景などを考え、これからの自己の生き方を判断できるようにする。

## 子どもの座席の決め方

教室での子どもの座席は、学習環境の重要な位置を占めています。子どもの座席替えが行われる学期の初めなどには、教室のどの辺りなのか、だれの隣に座るか、グループ(班)のメンバーはだれかなど、子どもも保護者も重要な関心をもってしています。

座席を決める際には、一人一人の子どもの身体の大きさなどさまざまな状況を十分に考慮することはもとより、教育的な見地から子どもたちの人間関係にも十分配慮します。また、特に目や耳などに障害のある子どもに対しては、保護者の意向なども踏まえて特段の配慮をする必要があります。

座席の位置はグループの構成と関連しています。グループは作業をしたり給食を食べたり、さらに掃除をしたりする際にも生かされます。こうした活動がスムーズに展開できるよう、メンバーの構成を考えます。

高学年では、子どもの主体性を大事にするという趣旨から、子どもたちに座席を決めさせることもあります。しかし、子どもの座席は授業の質を左右するものですから、教師がイニシアティブをとって、教育的な配慮のもとに教師の責任で決めるようにします。

座席の位置によって、教室の景色が変わります。学習への参加態度が変わることもあります。座席は学校生活のなかで徐々に染みついていきます。座席が変わった翌日、つい前日までの座席に座ってしまう子どももいます。

子どもの座席は時期をみて変えるようにします。教室での座席の前後の位置は多くの場合、身体の大きさによってほぼ固定しますが、左右の位置は変えたほうがよいでしょう。

# 教育の動向

## 慣用句の認知と使用状況

文化庁は「国語に関する世論調査」を実施しました。実施時期は昨年(2019年)の2～3月。対象は全国の16歳以上の男女で、回答者は1960人でした。

古典的な慣用句に関して、「結果は言わずもがなである」についての認知と使用について尋ねたところ、「聞いたことはあるが使うことはない」と回答した人は54.9%で、「使うことがある」人はわずかに18.5%でした。「聞いたことがない」は25.6%もいました。また、「議論が行きつ戻りつしている」は「聞いたことはあるが使うことはない」が63.8%、

「使うことがある」はわずか12.3%に過ぎませんでした。「聞いたことがない」が22.8%でした。

本調査では慣用表現についても尋ねています。例えば「砂をかむよう」とは、「無味乾燥でつまらない様子」か「悔しくてたまらない様子」かを尋ねたところ、前者の本来の意味を回答したのは32.1%だったのに対して、後者は56.9%でした。「惘然」や「御の字」についても同様に尋ねています。いずれも本来の意味が理解されていないことが明らかになりました。

調査結果は年代別にも集計されており、世代による違いも見られます。読書傾向についても調査されています。これらの調査結果は文化庁のホームページで見ることができます。

## 北 俊夫の「実践と研究」の足あと

# 5

### 6月の授業参観日が第一関門

4月に新しい学級を担任すると、3月まで担任していた子どもたちとの違いや差を意識することがたびたびありました。学習の仕方に大きなギャップがあり、戸惑うことばかりでした。

資料の読み取りができない子ども、自分から発言しようとしていない子ども、事実と意見を混同している子ども、ノートに自分の考えを書けない子どもなど問題点や課題が目がいきます。

4月の保護者会では、学級経営の方針や授業の進め方などを話しました。私は、資料の読み取りをしっかり指導します、発言できない子どもを無くします、みんなで協力して授業をつくる学級をつくりますなど担任としての決意を述べました。実際にできるかどうか、まったく自信はありませんでした

が、指導方針を説明することで、自分を追い込み、その後の授業に緊張感と目標をもたせました。

4月の保護者会からほぼ2か月後の6月の日曜参観日は、多くの保護者が来校します。公開したのは子どもたちの苦手な社会科でした。授業では、資料を見て、まず事実(分かること)を発表させました。次にそこから考えられること、そして自分が思ったことや考えたことの順で発言を求めました。すると、これまで発言したことなかった子どもが活発に発言してくれました。好きではなかった社会科に楽しく取り組む姿が見られました。保護者の多くは、これまで見られなかったわが子の姿を見て安心したようでした。

授業での子どもの姿を見て、教師は評価を受けます。私が目標にした第一関門は6月の授業参観日でした。

## INFORMATION

### ぶんけいの選べるテスト!



### 2020年度 ぶんけいテスト 好評企画!

1~6年生 対応 国語 言葉の力 シート 算数 読み取る力 シート



従来のイエローページ(前学年までの復習)とあわせて年度当初に実施、クラスの読解力の把握とその後の指導に活かされます!

WEBカタログはコチラ!

## 編集後記

GIGAスクール構想によって児童一人一人がPCを持つ環境の実現が目指されます。ICTの導入によって授業やコミュニケーションの取り方が変わるかもしれません。今までにない新しいアイデアが生まれるように頭を柔らかくしたいです。(K記)

企画・編集：ぶんけい教育研究所  
発行：株式会社文溪堂  
発行日：2020年3月1日